

ドイツ連邦食料・農業省 農林漁業最新情報  
Bundesministerium für Ernährung und Landwirtschaft  
NO 7  
2023・7・3

1 2023 年度「学校で食べよう」コンクールで 4 金賞受賞者決定  
ードイツ全土から 206 クラス・5200 人が参加ー (2023・6・20)

ニック政務官が受賞者を讃える！

ドイツ全土から 5 200 人の生徒たちが、  
” 食べよう！有機・多様性・健康！” の  
モットーのもとにコンクールに参加した。  
連邦食料・農業省 Echt kuh- I！（本物の牛の貢献！）の 20 周年学校コンクールで、学校昼食が柱となって多くの子供たちが躍動した。



授賞式典で挨拶するニック政務官

このコンクールのモットーのもとに子供達

と青少年達は、一緒になって有機農業と環境に優しい栄養の関係を発見し、理解することができた。206 のクラスとグループ、そして 5 200 人の生徒たちが参加し、さらに 617 の個別活動があった。そして今、受賞者が決定された。

連邦食料・農業省の Dr. オフェーリア ニックが、ベルリンで金「2Kuh-le Kuh」トロフィーを授与し、そして述べた・

” 見事なアイデアをもった子供達は、何かをし、そしてしばしば変化のために実践する。その子たちは賞に値する。私は創造力をもち、そして賢い生徒たちがビデオ、アートプロジェクトまたはクロスメディア（テレビ、映画、インターネット等、様々なメディア）キャンペーンに、ひたむきに取り組んだことに感銘を受けた。” そして彼女は、” 有機で健康な昼休みの給食は、身体と精神を充電した。まさに共同の給食は、全ての子供たちと青少年に、両親の家の家系ないし財力に関係なく、適切に持続可能に食べることに貢献した。生徒たちは非常に印象深く証明してくれた。私は本当に心からお祝いしたい” と述べた。

第1位グループは、4つで金賞トロフィと賞金1200ユーロ（約168000円）でもって表彰された。第2位～第3位は、銀賞と銅賞並びに1000ユーロ（約140000円）と750ユーロ（約105000円）を授与された。第4位～第5位ないし研究賞・学校賞も、それぞれ賞金を得て喜んだ。

### 年齢別カテゴリーの第1位の受賞者

年齢層グループⅠ：3年生から4年生（小学校）

学校所在地 ビューテナウ通り小学校クラス3B

ハノーバー ニーダーザクセン州

活動内容：「Echt kuh オーガニックで簡単そして美味しく、誰にでも良い」説明ビデオ、情報チラシ、ポスター掲示と有機食品のアートプロジェクトといったプロジェクト情報づくりが優れている。

年齢層グループⅡ：5年生から6年生（中学校）

学校所在地：ヴァルツブルグ実科学校クラス5B エルトマン バイエレン州

活動内容：健康、環境に優しい学校ランチのアンケート調査、包装廃棄物の展示、有機、季節性、地域性に関する情報のプレゼンテーションとプロジェクトドキュメント（記録）

年齢層グループⅢ：7年生から8年生（高校）

学校所在地：アルブレヒト エルンスト ギムナジューム（高校）

オッチンゲン バイエレン州

活動内容：ビデオ、学校料理人と学校庭園プロジェクト担当者へのインタビューなどのプロジェクトドキュメントの作成

年齢層グループⅣ：9年生から10年生（高校）

学校所在地：アムマルクト ギムナジューム（高校）アムス ニーダー

ザクセン州

活動内容：ビデオ・オーガニックに行こう！オーガニック農場への遠足アンケート調査・学校食堂における有機料理に関するアンケート調査 オーガニックシールに関する情報

## 今年は2つの学校が特別賞を授賞

### 1 IGS ボーベンデン総合学校

ボーベンデン ニーダーザクセン州

有機一学校給食、持続可能性、学校庭園を巡っての多くのプロジェクト  
さらに学校全体の参加の下にさらなるプロジェクト ドキュメントとしてのパドレット（オンライン掲示板アプリ）

### 2 基礎学校（小学校）ガウ オーデンハイム

ガウ オーデンハイム ラインラント プファルツ州

ビデオ投稿「未包装の校内キオスク」 有機食品のみの昼休みーキオスクとしての校内店

## Echt Kuh-Iの多様な活動



学校コンクールのポスター



コンクールで表彰校



表彰を喜ぶ子供達



学校の畑で野菜栽培



学校での庭園づくり



牛さんに会いに来ました。



蜜蜂の勉強



プレゼンテーションの準備



小学生のポスター羊は気象保護で私たちの協力者



生徒たちの料理作り



今日の食材を見ながら昼食を



審査員一資料づくりなど活動など全体を評価する。

## 2 連邦議会：家畜の飼育方法の表示法と建築法の改正を議決（2023・6・15）

ーオズデミール大臣・将来の家畜飼育のための2つの大きな歩みー

ドイツ連邦議会は、オズデミール大臣が提出した公的に必須の「家畜飼育表示法」を可決した。これは家畜の飼育に関連して、透明性と明確さについて配慮し、そして消費者の自覚的な購入決定を可能にする。同じくこれに対応した畜舎建設簡素化のために、建築法の改正も決定した。



家畜の飼育方法の表示には、以下の5つの飼育方法が規定されている。

- ① 有機 ② 運動場/牧草地 ③ 新鮮な空気の畜舎 ④ 畜舎（動物愛護法上の最低限の法的要件を満たしている畜舎）+スペース ⑤ 畜舎（同じく最低限の法的要件を満たしている）

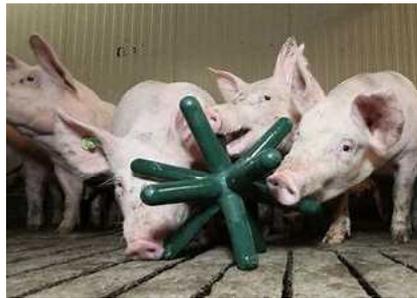
この法はまず第一に豚の肥育を規定し、その後順次他の家畜の種類に及ぶ。さらなる分野はリサイクルバリューチェーン（循環型）、例えばレストラン、家畜のライフサイクルの分野にも拡大される。

消費者は、家畜がドイツの農業経営の中でどのように飼育されてきたのか、この表示でもって一目で見分けることができる。連邦食料・農業省は、ドイツ原産の家畜に由来する食料の透明かつ義務づけられた家畜飼育表示についての作業を行ってきた。さらに家畜飼育表示のための法草案の中に、他の EU 一加盟国と第三国からの食料を、任意をベースに表示されるための可能性も含んでいる。消費者は家畜飼育表示でもって、家畜が飼育されてきた形態を食料包装の上で見分けられる。

### 家畜飼育表示のための基本

- 一 消費者は家畜飼育のような食料の由来について、より多くの情報を望んでいる。
- 一 そのため、必須の家畜飼育表示の最終消費者は、家畜に由来する特定の食料を手にしたとき、その家畜の飼育形態を表示されることによってはっきりと知ることができる。
- 一 消費者は家畜の飼育表示でもって、家畜の飼育形態に関する情報を入手する。しかし、これは品質に関する評価ラベルではない。
- 一 最初の一步は、豚肉に表示される。生の冷蔵、冷凍/包装済みないし未包装の肉、小売、卸、サービスカウンター、専門店、オンライン取引で実施される。
- 一 この後迅速に他の畜種、レストラン並びに加工製品に実施される。
- 一 食品表示の大部分は家畜の飼育形態であり、いわゆる生産上の一時期で肉の場合は肥育である。
- 一 畜産の場合は5つの形態を計画している：前述の5表示
  - ① 有機：家畜飼育が EU 一有機規則の必要条件に適応していること。  
これは豚についてなお大きな運動面積と、さらに豚舎内でさらに多くの場所を必要とする。
  - ② 運動場/牧草地：豚は1日中運動場にアクセスでき、そして走り回れること。この肥育期間中は恒久的な建物だけでなく、屋外でも飼育される。

- ③ 新鮮な空気の畜舎：それぞれの房に外気が入り、基本的に畜舎内の空気に影響を与える。豚はいつでも様々な空気領域に触れることができる。
- ④ 畜舎＋スペース：豚は法的に最低必要水準との比較で、最低 12.5% 多いスペースを使えること。粗飼料（麦藁など）に加えて豚同士の噛み合いを防ぐために、「豚の遊び道具」を設置する。そして様々な構成素材による仕切り壁での温度・光の領域をつくる。



豚の噛み合い防止のための「遊び道具」

- ⑤ 畜舎：肥育期間中の飼育は、法的に最低水準の必要性に対応して行われる。

### 飼育形態に関する情報

良好な飼育条件のために、飼育施設投資の良い刺激を与え奨励する。農業者は、家畜の飼育表示に関係なく自分の家畜に特別に適した飼育条件を与え、その畜舎に応じた対策を講ずる場合に資金的に奨励される。連邦食料・農業省はより多くの家畜保護並びに環境・気候保護に転換する際に、農業者に寄り添い支援する。

### 背景：

ドイツ連邦議会農業食料委員会は、既に 2023 年 4 月 19 日に家畜飼育表示法の草案を採択している。かつて連邦食料・農業大臣オズデミールから 2022 年 12 月 15 日に連邦議会に提案され、最初の読会（議案審議）で議論された。これはドイツにおける将来性のある家畜飼育の政策を、さらに促進するための重要な歩みである。オズデミールは、6 月の記者会見で家畜飼育表示法の焦点を紹介した。

10 月半ばに連邦閣議で法草案を決定する。これは法的に実現させる前提条件のさらなる歩みである。11 月 25 日に連邦議会への法草案を議事日程にのせる。これは最初の意見表明において草案をサポートする。



豚肉への表示ラベル (この表示は上から2番目の黒標示がが該当)

- 有機
- 運動場/牧草地
- 新鮮な空気の入る畜舎
- 畜舎+スペース
- 畜舎

**Bio**

- Die Tierhaltung entspricht den Anforderungen der EU-Ökoverordnung.
- Die Schweine haben eine noch **größere Auslauffläche** und noch **mehr Platz** im Stall.

有機飼育  
飼育が EU-有機規則の必要  
条件に合致。  
豚にはより多くの運動場が  
ある。



**Auslauf/Weide**

- Ist diese Haltungsform angegeben, steht den Schweinen **gantätig ein Auslauf** zur Verfügung und **mindestens 100 Prozent mehr Platz\*** im Vergleich zum gesetzlichen Mindeststandard.
- Oder:
- Die Schweine werden **dauerhaft im Freien** ohne festes Stallgebäude gehalten. Den Tieren muss in **einer Schutzeinrichtung ein Liegebereich** zur Verfügung stehen.

\*in der letzten Mastphase

運動場+牧場  
この飼育方法は、豚が全日  
運動場を使える。法的に必  
要な最低水準の **100%多い**  
面積であること。仔豚もの  
びのびと。



**Frischluftstall**

- Haltung der Tiere in einem **befestigten und ganz oder teilweise überdachten Gebäude**. Jedes Tier muss jederzeit Zugang zu **unterschiedlichen Klimabereichen** haben.
- **Mindestens 45 Prozent mehr Platz\*** im Vergleich zum gesetzlichen Mindeststandard
- **Größerer Liegebereich** in dem die Schweine vor zu kalten oder zu heißen Temperaturen geschützt sind.

\*in der letzten Mastphase

新鮮な空気の入る畜舎  
豚はいつでも新鮮な空  
気に触れられる。



**Stall+Platz**

- Ist diese Haltungsform angegeben, steht den Schweinen **mindestens 12,5 Prozent mehr Platz** im Vergleich zum gesetzlichen Mindeststandard zur Verfügung.
- **Raufutter**, wie Heu oder Stroh, zusätzlich zum Beschäftigungsmaterial.
- Die Buchten sind mit **mindestens drei Strukturelementen** ausgestattet. Diese ermöglichen es den Schweinen, ihre natürlichen Verhaltensweisen besser ausleben zu können.

畜舎+スペース  
この飼育方法は、法的  
に最低限の必要条件と  
の比較で**+12.5%のスペ  
ース**を与える。





畜 舎  
この飼育方法は、法的に最低必要水準を満たしている施設である。



### 3 連邦食料・農業大臣オズデミール：木材建築を奨励する木材戦略を公表 —最新の建築方法による木材の需要拡大で空気中の炭素削減— (2023・6・21)

木造建設イニシアチブは気候的に中立で、かつ迅速な建築のためのさらなる歩みを進めた。連邦閣議は今日（6月21日）に、連邦建設大臣クララ ガイヴィッツと連邦食料・農業大臣オズデミールから提案された木材建設イニシアチブ草案を決定した。連邦政府のこの戦略は建設分野に持続可能な木材の投入を強化し、気候保護、資源利用の効率化、迅速な建築を配慮している。8つの行動分野をもって、専門家と科学者の確保を通じた連邦のモデル機能と研究、革新そして原料供給まで、2030年に木材の投入を基本的に改善し木材建築率を高める。



オズデミール食料・農業大臣

この行動分野の取組みは障害を除去し、そして様々な建築資材投入のために、該当する競争分野について説明している。つまり、連邦のそれぞれの専門分野が重点テーマと問題解決を、自らの権限と財源の活用でもって行う。ドイツにおいて約7%のCO<sub>2</sub>一放出が建物の建設と近代化に由来している。樹木は成長段階においてその中にCO<sub>2</sub>を取り込み、建物で使用する木材において炭素の蓄積をそのまま継続している。同時に木材は、シリアル構造、モジュール構造（訳注）に向いている。この建築方式でもって、建物を短い生産一建築時間でプレハブ工法で建造できる。これは迅速にそして手頃な価格で住居を建設できる。

（訳注・シリアル構造：同じ要素を出来るだけ多く製造し、現地で組み立てる建築方式  
モジュール構造：個々の構造要素—例えば床、天井、壁を一体にして現地に運び組み立てる方式、プレハブ工法：建物の一部或いは全部を予め工場生産し、現地で組立てる方式）

連邦住宅・都市開発・建設大臣 クララ ガイヴィッツ：” より多く手頃な価格で良い住居を創り、人々が快適に過ごせるために、我々はシリアル建設とモジュール建設を促進したい。これには木材は非常に良く適している。これは軽量で多面的に利用でき長持ちし、リサイクルが簡単である。木造家屋は屋根を乗せる骨組みとその構造を、以前の世代は実行していた。同時に地元産木材はいつでも我々の前にある。これの活用は運送費を節減し、地域の付加価値を高め、地方経済の循環を改善する。さらに木材は好まれる。それは優れた室内気候を創出し、人々に森林の住居で快適な気分をもたらす。

スイス、オーストリア、スウェーデンまたはフィンランドのような国々は、近代的な建物に木材を上手く利用することを示している。我々は木造建築でもって、この原料の大きな多様性を実証している。

このため、我々の国においても木材の持続的な投入を強化する。”

連邦食料・農業大臣 ジェム オズデミール：” 森林は気候危機に対する闘いにおいて、我々の自然的な「連帯者」である。樹木は中に炭素を取り込むことで気候から有害な炭素を除去する。我々の目的は、木材を可能な限り長く使用することである。我々の新しい木造建築は CO<sub>2</sub> 一蓄積者であり、他の建築方法に比較しても温室効果ガス放出の 50%以上まで削減する。我々は森林を緊急的に必要としている。なぜならば、気候危機の結果、我々の森林が既に弱体化し損傷しているからである。

木造建設イニシアチブは、必要な森林改造を実施するとともに、森林損傷から木材を守り高品質にそして持続的に使用するために貢献する。このことから木造建設イニシアチブは、森林所有者とさらに農村地域における林業一木材業経営も支援する。世界的に、またヨーロッパとドイツにおいても、木材から興味深い建築と木材ハイブリット工法（訳注・木材とコンクリートを組合わせた建築方法）が生まれている。

それにも拘わらず、ドイツにおける木材割合は、可能性の水準以下に留まっている。しかし、1~2 家族住居においてはドイツ全体で既に 26%に達している。高層建築については僅か 5%である。これらの潜在力については、木造建設イニシアチブを特に開拓したい。同時にこのイニシアチブから経済の脱炭素化に必要な転換のために、より強いシグナルを送る。”

木造建設イニシアチブ実行のために、各州と団体との多様な対話方式を計画している。2023年10月10日にベルリンにおいて、連邦大臣クララ ガーヴェックとオズデミール出席のもとに、最初のスタートイベントを開催する。中心テーマとして木造建築に関する円卓会議を開催し、専門的な知見の普及と経験交流を行う。



気候温暖化の影響で森林被害 木材の伐採作業 農村における製材業は重要な産業



多層階の木造建築



木材住居—木材が炭素を固定



木造住宅の内部



木材ハイブリット構造の住宅  
木材とセメントを使った建物



木材ハイブリット構造の団地



内部構造



木材ハイブリット構造の8階建のビル

#### 4 ミュラー政務官：G-20 農業大臣会議 食料政策は平和政策である

—ロシアのウクライナ侵略は世界の食料危機を招いている— (2023・6・19)

G20 ー農業大臣会議がインドのハイデラバードにおいて、持続可能な食料システムへの転換について審議した。連邦食料・農業省政務官クラウディア ミュラーは、今年の G20 ー農業大臣会議に際して、食料—平和そして安全保障政策を共に考えることを確認した。



クラウディア ミュラー政務官

ミュラー政務官：” 食料政策は平和政策である。なぜならば、食料の安全保障は戦争と紛争回避に役立つが、戦争と紛争は食料不安と飢餓の原因となる。

ウクライナに対する国際法違反のロシアの侵略戦争は、このことをはっきりと示している。そしてこれに加わるのが気候危機である。なぜならば、我々は持続的で回復力のある食料システムを、必要しているからである。”

この会議の焦点にはインド議長国が持続可能な食料システムへの転換の問題と並んで、グローバルな食料確保と食料の権利の強化、グローバルな良き共同活動を据えた。中心的なテーマについての合意にも拘わらず、G20 参加国は、コンセンサスを得た「最終宣言」を採択することができなかった。

そしてミュラーは続けた。” ウクライナに対してまだ続いているロシアの戦争は、これによる世界食料の大規模な結果を考えると、ロシアの有罪を明確に呼びかける声明を発することであった。しかし、残念ながら G20 でコンセンサスを得ることができなかった。それにも拘わらず重要な結果に達した。”

20 農業大臣は食料の広範な多様性の消費奨励並びにワンヘルスアプローチ（1 つの健康への接近 訳注）の強化達成を目指す。

（訳注・人間、動物、環境の相互依存を認識し、3 つ全ての最適な健康を達成すること）

これについてクラウディア ミュラーが述べた。”まさに大きな挑戦に直面している G20 として、対話を持ち続けなければならない。多様な危機には、共同でのみ効果的に取り組むことができる。私はこのため、インドの G20 一議長職に対して大きな感謝を捧げたい。”

### 背 景：

G20 は 1999 年に国際的な経済そして通貨政策の共同活動に関する、非公式フォーラムとして設立された。20 の先進工業国一新興国は、世界人口の 2/3 強、80%以上の世界の国内総生産額そして世界貿易の 3/4 を占めている。農業分野においては世界の耕作地の 60%、世界食料貿易の 80%を占めている。

2008 年以來、毎年国一政府のサミット会議が開催されている。このサミットと並んでそれぞれの議長国が、自らの決定で各専門分野の大臣を招いている。2011 年以來、定期的に G20 一農業大臣会議が開かれている。今年の会議は 6 月 15 日~17 日まで、インドのハイデラバードで開催された。



G20 一サミット（首脳会議）

2023 年 9 月 9 日~10 日開催インド・ニューデリー



畑が戦場に地雷で破壊

それでも農業者は畑へ

小麦の収穫一運搬トラックは？



干ばつで枯れあがったトウモロコシ  
(アフリカ)



この子たちに1日も早く食料を

2023・7・1 訳  
青森中央学院大学  
地域マネジメント研究所  
中川 一徹